



# Teams利活用で生産性 向上できていますか？

ハイブリットワークを  
成功に導くポイント教えます。

株式会社 環

代表取締役社長CEO 青木 沙織

# スピーカーの紹介

青木 沙織 あおき さおり

株式会社 環 代表取締役社長 CEO



経営理念

日々の「仕事」をもっと有意義で素晴らしいものに

Make Your Work More Wonderful

ミッション

IT教育を通してビジネスをアクティベートします

We are “ Business Activator ”

私たちは、クラウドサービスを通じた教育を通して、  
お客様の生産性向上、ビジネスの活性化を実現いたします。



# スピーカーの紹介

青木 沙織 あおき さおり

株式会社 環 代表取締役社長 CEO

エンジニアからキャリアをスタートし、ビジネス開発、マーケティング、自治体行政機関向けIT/広報コンサルティングの経験を通して、Technology×人（Human）の組み合わせで、日本で働くすべての人の仕事を楽しく、豊かなものにすることを志し、ITツールの利活用推進教育・コンサルティングに従事している。

ビジネスと教育の観点から国内のビジネス人材のスキル底上げと社会課題の解決を目指している。

Jenn Lim著書 Beyond Happiness に掲載

Wall street JournalのBest seller US Amazon WorkPlace 部門



# ビジネスベーシックスタジオ

## オンライン研修 + 実践ワークで、着実にスキル向上ができるビジネス研修サービス ニューノーマル時代のビジネスシーンに必要なスキルを習得できます

Microsoft Teams を操作しながら使い方を習得。

講師とのインタラクティブなワークや質疑応答で  
受講者の理解度・習得度のアップ効果が期待できます。



### ビジネスベーシックスタジオ

#### 仕事のキホン

- チームでの共同作業や会議、実際のビジネスシーンですぐに“使える”“活用できる”実践型研修



### ビジネスベーシックスタジオ

#### IT のキホン

- DX推進のベーススキル。PCを使って仕事をする全てのビジネスパーソンに必要な「ITリテラシー」を習得させるための研修



### ビジネスベーシックスタジオ

#### コミュニケーションのキホン

- ビジネスをする上でのコミュニケーションの知識と実践方法を習得する研修



# ナレッジマニュアル - マニュアル更新サービス

## Microsoft Teams が また新しくなってる!!

気づかないうちに Microsoft Teams に新機能が追加されていて  
社内のマニュアル更新が追い付かず、お困りではないですか？

いつでも最新のマニュアル

 1ユーザー **100**円から



Teams

Outlook・Exchange Online

Yammer

Stream

OneDrive

SharePoint

Forms

Power Automate

# みやすい解析 for SharePoint



# みやすい解析

## for SharePoint

ポータルサイトを最適化して  
社内コミュニケーションを活性化

ポータルサイトの効果測定、していますか？

発信者



いつ、誰が読んでいる？

人気記事はどれ？

一番読まれる時間帯は？

導線はどうなっている？



受信者



いつ / 誰に / どれだけ 読まれているかが分かります

# 利活用推進の課題

# 検討・導入・活用 期別施策

## 検討期

理想・あるべき姿を設定する  
課題抽出・KPI策定

- ・ 現状課題の抽出
- ・ あるべき姿の設定
- ・ 利用シーンの抽出
- ・ KPIの策定
- ・ 教育計画作成  
推進体制  
社内教育方法  
教育コンテンツ  
広報アプローチ

## 導入期

教育コンテンツ・体制を整える  
教育環境の整備

- ・ 推進チーム教育
- ・ 上層部向け理解促進研修
- ・ オンライン研修
- ・ オンサイト研修
- ・ ルール&マナー作成
- ・ 利用シーン作成
- ・ マニュアル作成
- ・ 動画作成
- ・ 多言語対応

## 活用期

現状を知り、改善施策を打つ  
現状把握・改善と自走化

- ・ 現状把握  
管理センターログ  
利活用分析  
社員の理解度調査  
社員のニーズ調査
- ・ 未展開ツールの活用検討
- ・ マニュアル、QAの  
アップデート、再周知
- ・ 利活用ワークショップ
- ・ 自走型コミュニティづくり



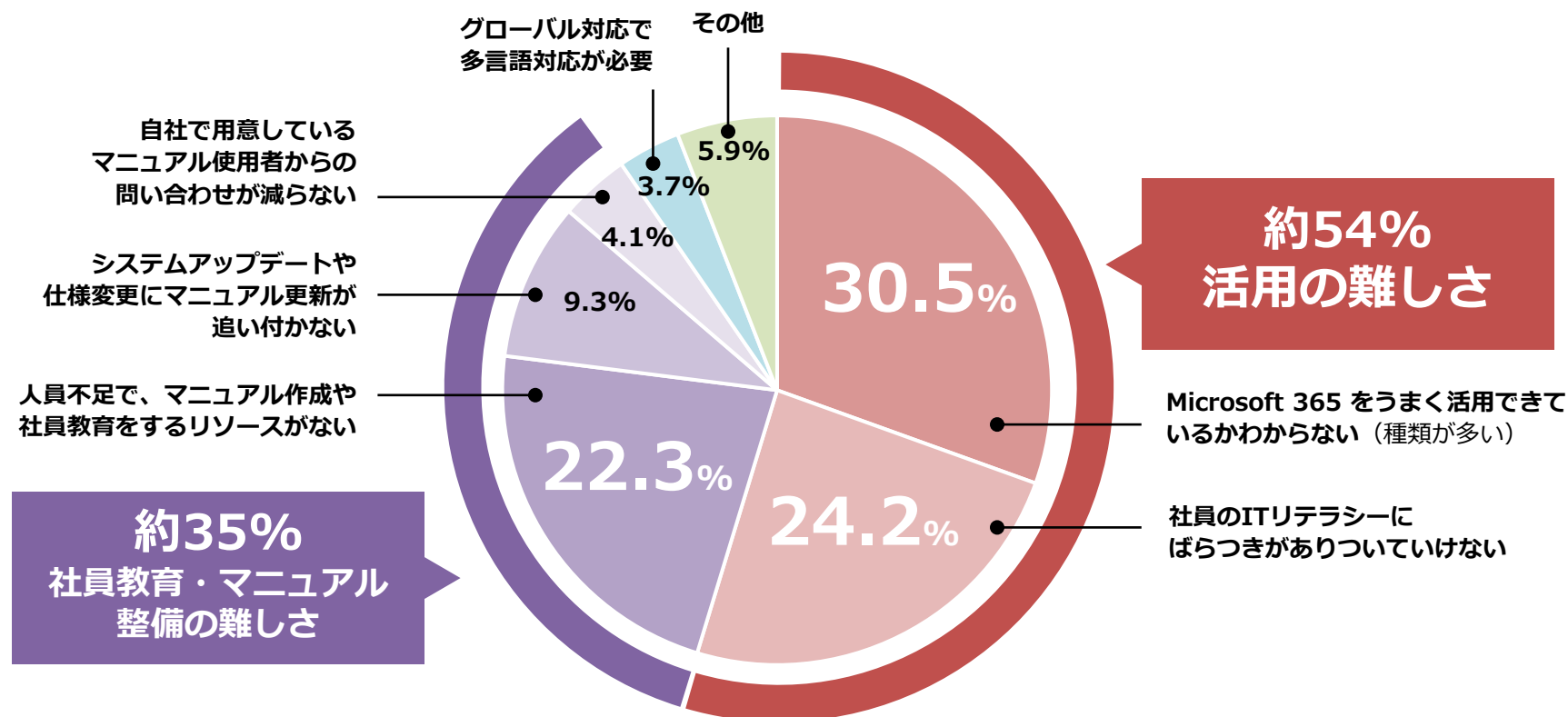
# 利活用における課題

導入後の企業の担当者は Microsoft 365 / Teams の

活用の難しさ

社員教育・マニュアル整備の難しさ

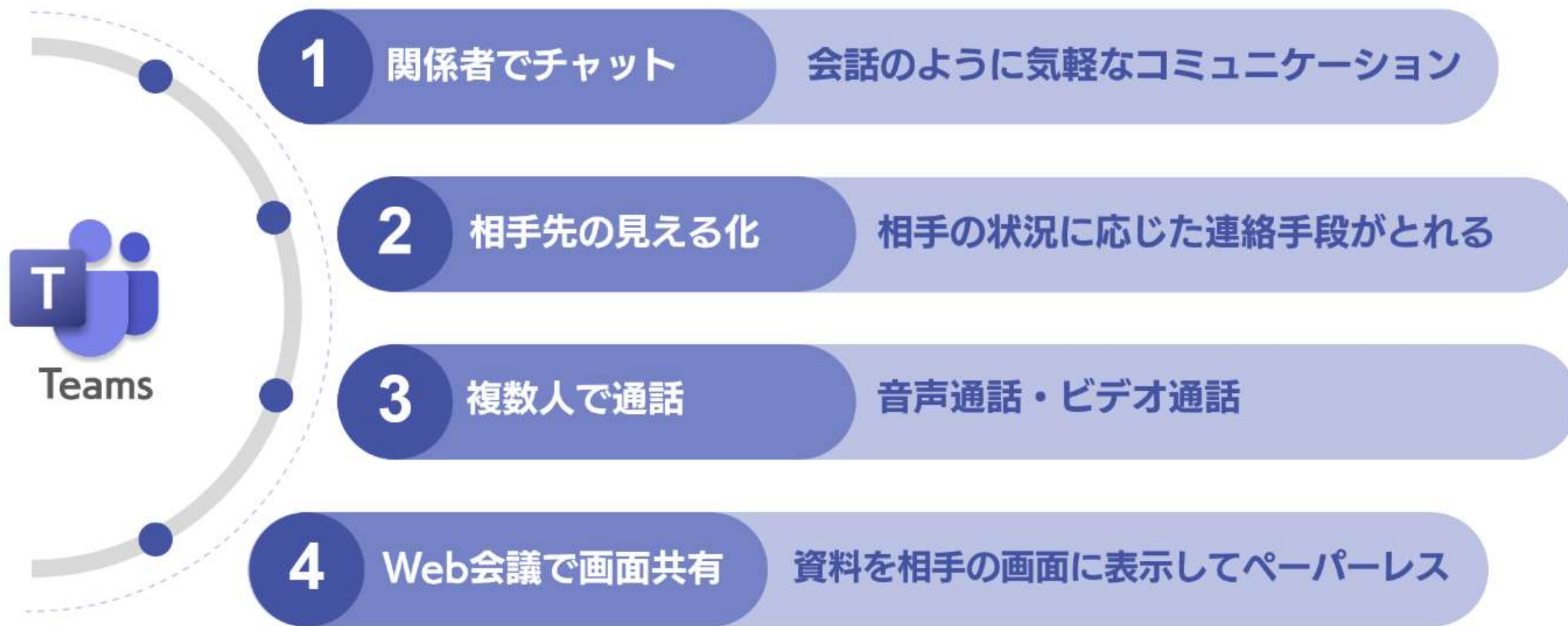
を課題に感じています。



# Teams の役割

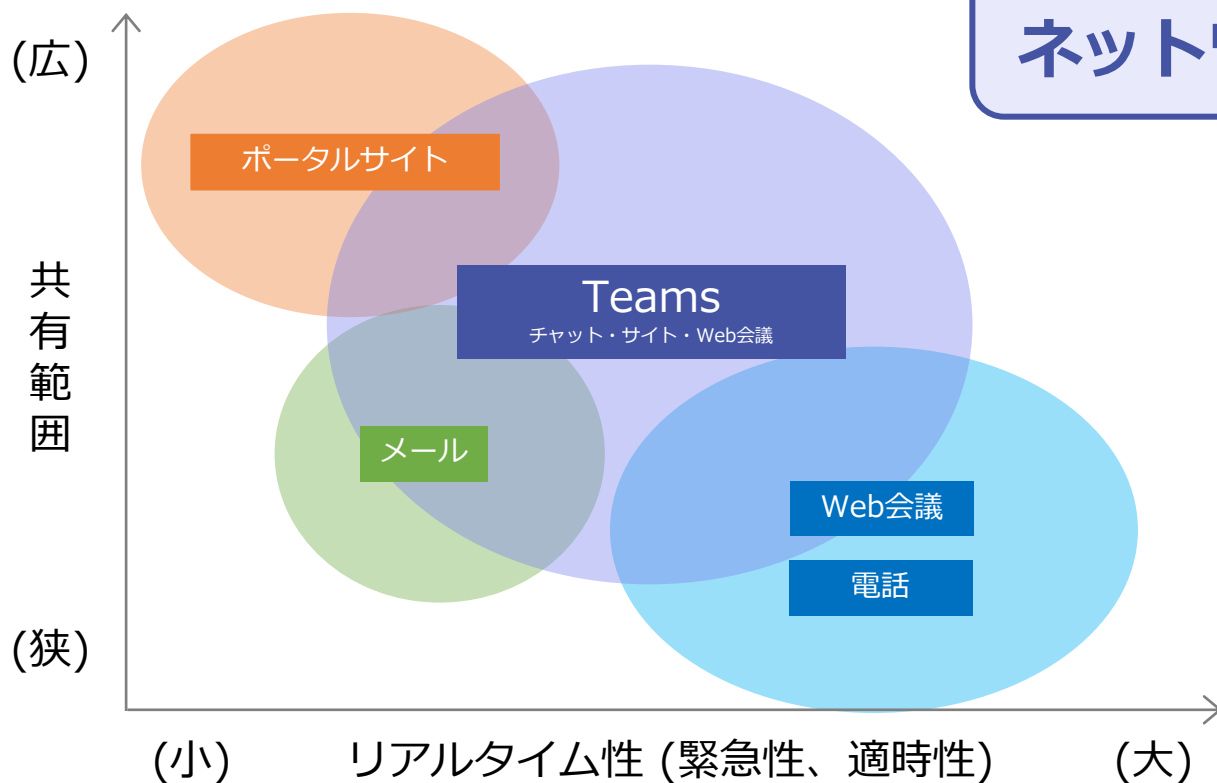
# Teams の役割

チャットやオンライン会議、ファイルの共有が簡単に行えるコラボレーションツール



# Teams の役割

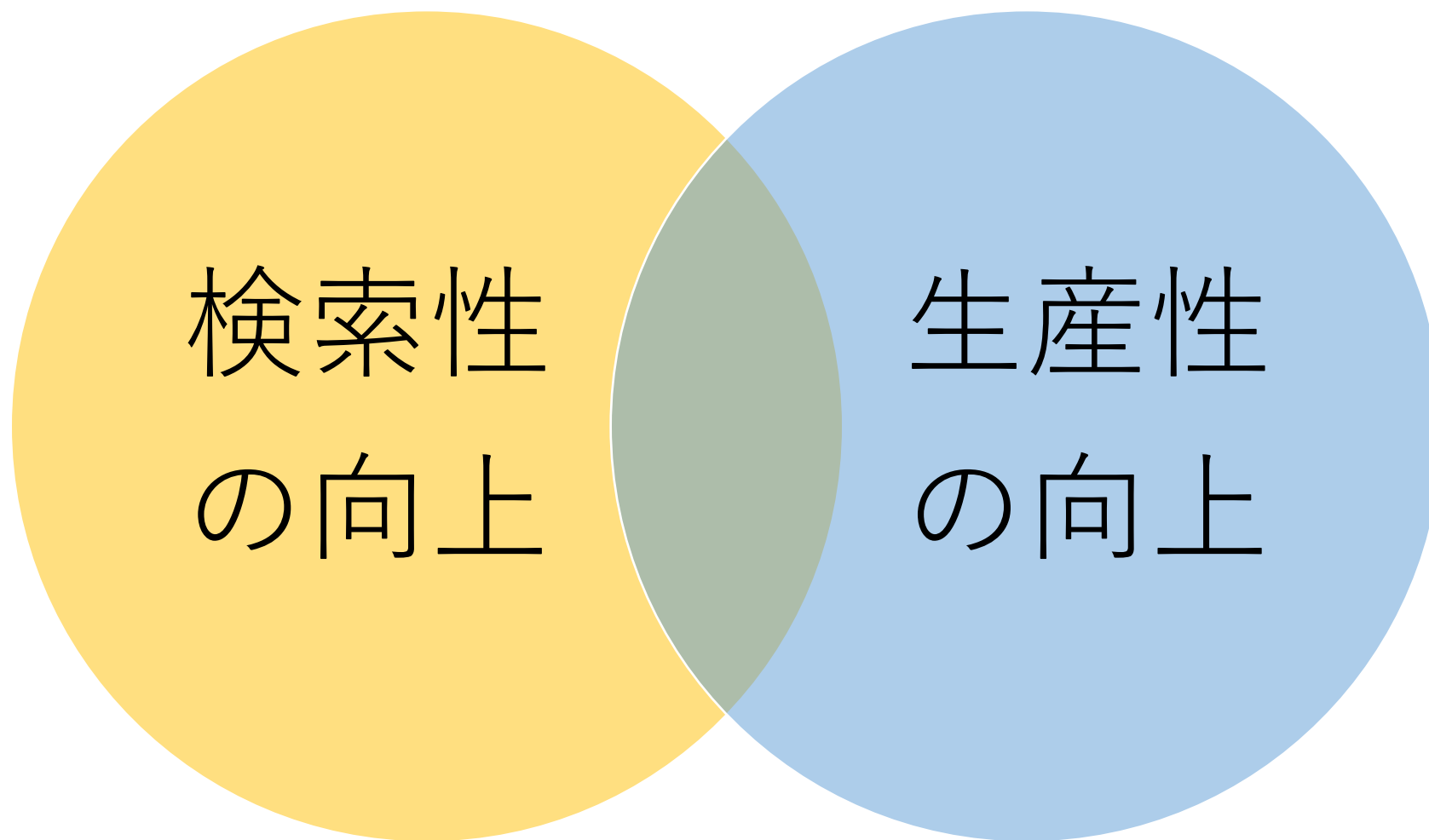
“場所中心”  
情報の広範囲な告知



“つながり中心”  
ネットワーク上での対話

“ひと中心”  
リアルタイムな対話





# ツールの使い分け

他で使用するツールも含めて  
使い分けを明確にする

→ 応用

基本

外部との  
やりとりは？



外部との  
やりとりは？

外部との  
やりとりは？



外部との  
やりとりは？



# ルール&マナー／職場の働き方に合わせた利用シーン

## チャット（チャンネルの投稿、プライベート、グループチャット）

| ルール                          | 理由                                          | 対象  |
|------------------------------|---------------------------------------------|-----|
| メンション時は「さん」など敬称は省きましょう       | 付ける付けないで相手の心証が違うのを防ぐためです、また敬称を入力する手間を省くためです | 利用者 |
| 複数人のチャットの場合は、必ずメンションをつけましょう  | 誰に対しての？                                     |     |
| 自分宛てのチャットにリアクションしましょう        | 既読の旨を知                                      |     |
| 絵文字、GIFアニメ、ステッカーは積極的に活用しましょう | テキストだけでは                                    |     |

| ルール（チャンネルの投稿）             | 理由      |
|---------------------------|---------|
| 新しいスレッドには、タイトル（件名）をつけましょう | どんな話題に？ |
| 同じ内容の会話は、ひとつのスレッドで行いましょう  | 情報は分散さ  |

Copyright © KAN Corporation All Rights Reserved.

## 情報も発言も集められるチーム

部内のチームはもとより、他部署でも巻き込めるチームを作成

### 例えばこんな「シーン」で

上司への状況報告のため、資料作成にたくさんのメールや過去の資料を探しながらまとめるとき



チーム（チャンネル）にこれまでのやりとりやファイルがすべて一元管理。上司やメンバー・関係者の中で、日頃から活動経緯が共有されているので報告業務が軽減



チーム内の各トピックスのやり取りがチャンネルにまとまっている

Copyright © KAN Corporation All Rights Reserved.





ITリテラシーが低い？

リテラシー：知識や理解力

スキル：技能



# ITリテラシーとは

通信・ネットワーク・セキュリティなど  
ITに関連するものを理解する能力や  
適切に活用する能力

# ITリテラシーの移り変わり

2000

2022

ワープロを使うことができる

Word、Excelなどの文書・表計算ソフトスキル

ソフトウェアをインストールすることができるスキル

インターネットで情報を見ることができる

E-Mailを使うことができる

ファイル管理、セキュリティについての基礎スキル

スマートフォンの台頭/LINEをはじめとするSNSの知識

SNSで炎上しないためのインターネットリテラシー・モラル

クラウド・AI・RPA・データなどの知識

コミュニケーション・コラボレーションツールを使いこなせるスキル

オンライン・オンサイト問わず働けるテレワークスキル

DX推進・業務変革・自動化・効率化

パソコン

インターネット  
(ネットワーク)

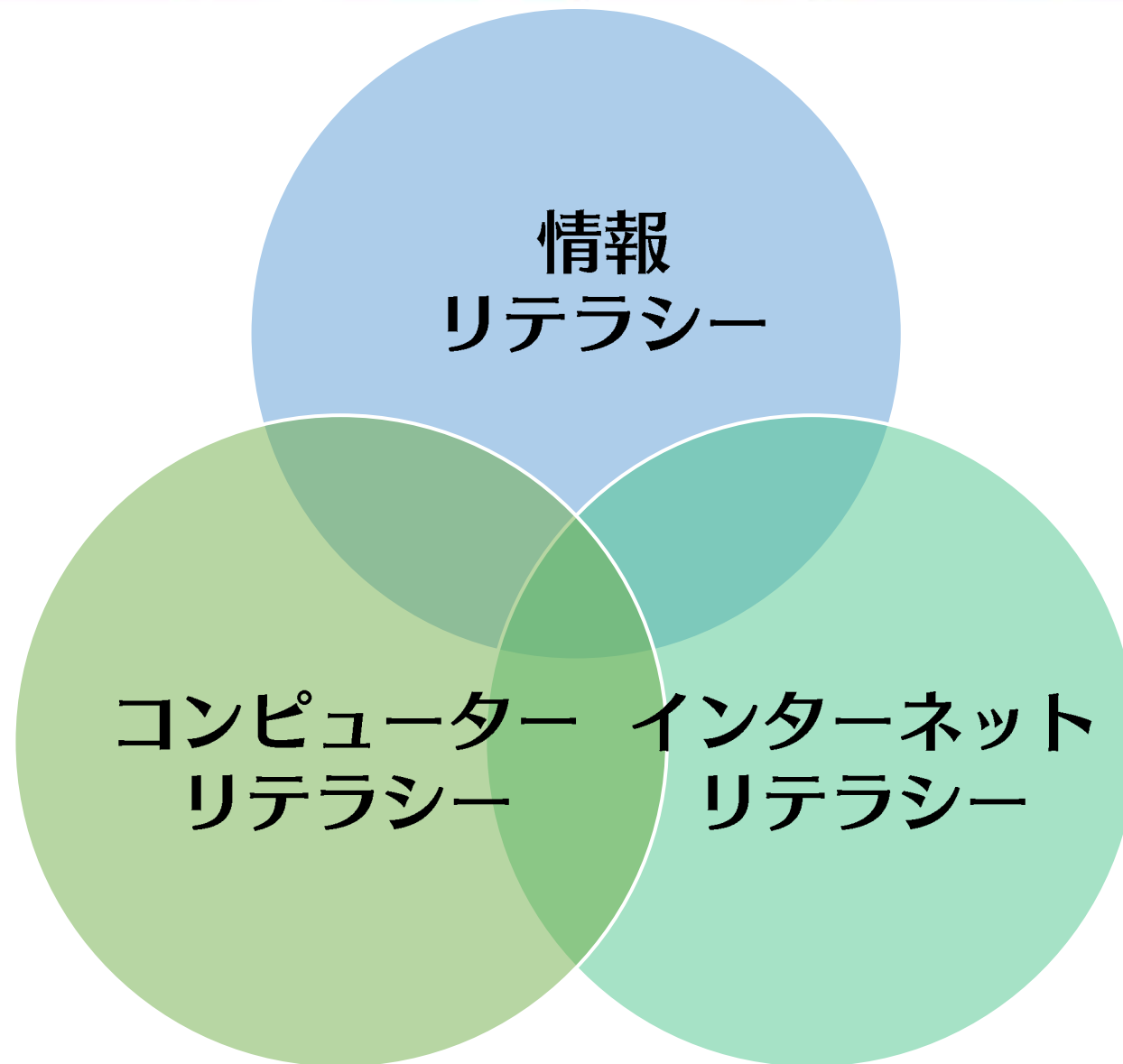
セキュリティ  
SNS

クラウド・  
データ活用

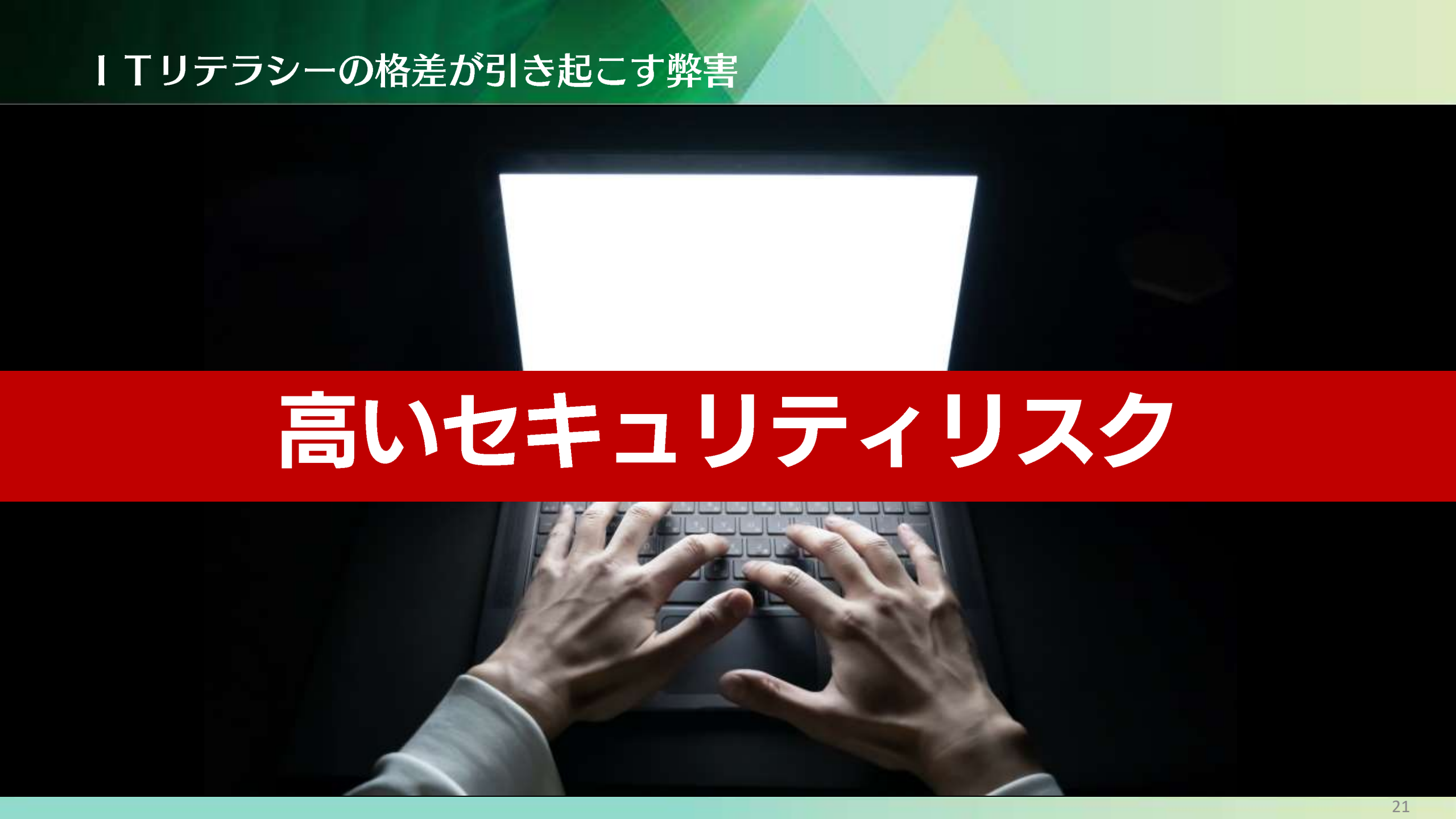
AI テレワーク

DX

# ITリテラシーの構成要素



ITリテラシーの格差が引き起こす弊害



高いセキュリティリスク

ITリテラシーの格差が引き起こす弊害

低い生産性



# 世界と日本 I Tリテラシーの現状

## World Digital Competitiveness Ranking デジタルスキル（競争力）



| Country / Economy | 2020 | Change | 2019 | Country / Economy | 2020 | Change  | 2019 |
|-------------------|------|--------|------|-------------------|------|---------|------|
| USA               | 1    | — (0)  | 1    | Spain             | 33   | ▼ (-5)  | 28   |
| Singapore         | 2    | — (0)  | 2    | Saudi Arabia      | 34   | ▲ (+5)  | 39   |
| Denmark           | 3    | ▲ (+1) | 4    | Czech Republic    | 35   | ▲ (+2)  | 37   |
| Sweden            | 4    | ▼ (-1) | 3    | Kazakhstan        | 36   | ▼ (-1)  | 35   |
| Hong Kong SAR     | 5    | ▲ (+3) | 8    | Portugal          | 37   | ▼ (-3)  | 34   |
| Switzerland       | 6    | ▼ (-1) | 5    | Latvia            | 38   | ▼ (-2)  | 36   |
| Netherlands       | 7    | ▼ (-1) | 6    | Thailand          | 39   | ▲ (+1)  | 40   |
| Korea Rep.        | 8    | ▲ (+2) | 10   | Cyprus            | 40   | ▲ (+14) | 54   |
| Norway            | 9    | — (0)  | 9    | Chile             | 41   | ▲ (+1)  | 42   |
| Finland           | 10   | ▼ (-3) | 7    | Italy             | 42   | ▼ (-1)  | 41   |
| Taiwan, China     | 11   | ▲ (+2) | 13   | Russia            | 43   | ▼ (-5)  | 38   |
| Canada            | 12   | ▼ (-1) | 11   | Turkey            | 44   | ▲ (+8)  | 52   |
| United Kingdom    | 13   | ▲ (+2) | 15   | Bulgaria          | 45   | — (0)   | 45   |
| UAE               | 14   | ▼ (-2) | 12   | Greece            | 46   | ▲ (+7)  | 53   |
| Australia         | 15   | ▼ (-1) | 14   | Hungary           | 47   | ▼ (-4)  | 43   |
| China             | 16   | ▲ (+6) | 22   | India             | 48   | ▼ (-4)  | 44   |
| Austria           | 17   | ▲ (+3) | 20   | Romania           | 49   | ▼ (-3)  | 46   |
| Germany           | 18   | ▼ (-1) | 17   | Slovak Republic   | 50   | ▼ (-3)  | 47   |
| Israel            | 19   | ▼ (-3) | 16   | Brazil            | 51   | ▲ (+6)  | 57   |
| Ireland           | 20   | ▼ (-1) | 19   | Croatia           | 52   | ▼ (-1)  | 51   |
| Estonia           | 21   | ▲ (+8) | 29   | Jordan            | 53   | ▼ (-3)  | 50   |
| New Zealand       | 22   | ▼ (-4) | 18   | Mexico            | 54   | ▼ (-5)  | 49   |
| Iceland           | 23   | ▲ (+4) | 27   | Peru              | 55   | ▲ (+6)  | 61   |
| France            | 24   | — (0)  | 24   | Indonesia         | 56   | — (0)   | 56   |
| Belgium           | 25   | — (0)  | 25   | Philippines       | 57   | ▼ (-2)  | 55   |
| Malaysia          | 26   | — (0)  | 26   | Ukraine           | 58   | ▲ (+2)  | 60   |
| Japan             | 27   | ▼ (-4) | 23   | Argentina         | 59   | — (0)   | 59   |
| Luxembourg        | 28   | ▼ (-7) | 21   | South Africa      | 60   | ▼ (-12) | 48   |
| Lithuania         | 29   | ▲ (+1) | 30   | Colombia          | 61   | ▼ (-3)  | 58   |
| Qatar             | 30   | ▲ (+1) | 31   | Mongolia          | 62   | — (0)   | 62   |
| Slovenia          | 31   | ▲ (+1) | 32   | Venezuela         | 63   | — (0)   | 63   |
| Poland            | 32   | ▲ (+1) | 33   |                   |      |         |      |

引用元 : <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>

# ITリテラシーの必要性

世界経済フォーラム「仕事の未来2020」より「2025年に向けて求められる人材スキルTOP15」

1

Analytical thinking  
and innovation



分析思考とイノベーション

2

Active learning and  
learning strategies



アクティブラーニングと  
ラーニング戦術

3

Complex Problem  
Solving



複雑な問題の解決

4

Critical thinking  
and analysis



論理的思考と分析力

5

Creativity, originality  
and initiative



創造性・独創性  
イニシアチブ

6

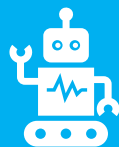
Leadership and  
social influence



リーダーシップと  
社会的影響力

7

Technology use,  
monitoring and  
control



テクノロジーの  
利用・監視・制御

8

Technology design  
and programing



テクノロジーの  
設計とプログラミング

9

Resilience, Stress  
tolerance and  
flexibility



レジリエンス  
ストレス耐性・柔軟性

10

Reasoning,  
problem-solving  
and ideation



推論・問題解決・発想

11

Emotional  
Intelligence



感情的知性

12

Troubleshooting  
and user  
experience



トラブルシューティングと  
ユーザー経験

13

Service  
Orientation



サービス指向

14

Systems analysis  
and evaluation



システム分析と評価

15

Persuasion and  
negotiation



説得力と交渉力

引用元 : The Future of Jobs Report 2020 by World Economic Forum, 2020.10.20

# ITリテラシー向上の施策



## ITリテラシー アセスメントチェック for Microsoft 365

DX推進におけるITリテラシーアセスメントチェックの位置づけ



現状分析  
評価



施策の  
設計と計画



施策の実行



運用・定着

DX推進・業務改善活動

# ITリテラシー向上の施策

組織のIT、Microsoft 365 に関する理解度を現状分析・評価し、DX・Microsoft 365 利活用推進にどこからどのように取り掛かればよいか、計画指標を明確にすることを目的に開発

DX推進を進める企業の”こんな疑問”を解決

DX推進しなければならないが  
何から手を付けるべきか？

Microsoft 365 利活用  
どこから  
手を付けたらいいの？

社員のITリテラシー  
レベルはどれくらい？

Microsoft Teams  
社内の活用度合いを  
確認したい

社員のモチベーション  
興味関心と本音は？

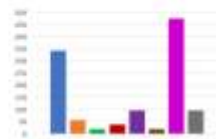
社員の現状を  
見える化

部門別、職種別、役職別  
などで違いはある？

# 回答レポートイメージ（回答者属性）

## 回答者属性

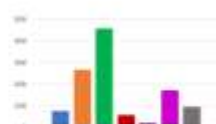
1. あなたの所属部門を選択してください。



2. あなたの性別を選択してください。



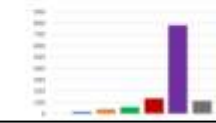
3. あなたの職階級を選択してください。



4. 業務形態を選択してください。



5. あなたの経験を選択してください。



## 年代別

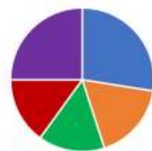
| 年代  | 平均点   | 最高点 | 最低点 |
|-----|-------|-----|-----|
| 30代 | 53.1% | 100 | 25  |
| 20代 | 51.2% | 100 | 20  |
| 40代 | 49.3% | 95  | 20  |
| 50代 | 42.2% | 85  | 25  |
| 10代 | 36.4% | 80  | 15  |
| 60代 | 35.8% | 80  | 5   |

## Teams①②

5. 【Teams①】 Teamsでできることをすべて選択してください。(5 点数)

回答者の 37% (422/1140) がこの質問に正解しました。

詳細

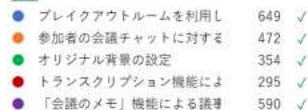


正解率  
37%

6. 【Teams②】 Teams会議で実現できることをすべて選択してください。(5 点数)

回答者の 26% (296/1140) がこの質問に正解しました。

詳細



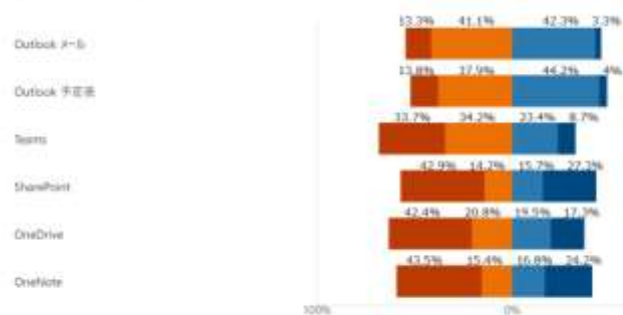
正解率  
26%

## 研修に対する希望

10. どのツールの研修の受講を希望しますか？

詳細

基礎から理解したい 応用・創造力だけほしい 研修の受講を希望しない よくわからない



Copyright © KAN Corporation All Rights Reserved.



# 回答レポートイメージ（理解度）

## Outlook①②

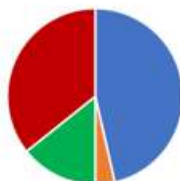


3. 【Outlook①】 Outlook（メール）の説明として、適切なものを二つ選択してください。

回答者の 42% (478/1140) がこの質問に正解しました。

[詳細](#)

|                            |     |   |
|----------------------------|-----|---|
| ● Outlook on the web（Web版） | 767 | ✓ |
| ● Outlook on the web（Web版） | 59  | ✓ |
| ● Outlookで受信可能なメール         | 236 | ✓ |
| ● Outlookでは、仕分けルールを        | 590 |   |



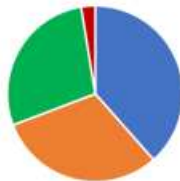
正解率  
42%

4. 【Outlook②】 Outlook（予定表）の機能として、適切なものをすべて選択してください。（5 点数）

回答者の 53% (604/1140) がこの質問に正解しました。

[詳細](#)

|                      |     |   |
|----------------------|-----|---|
| ● Outlook（予定表）では、Tea | 885 | ✓ |
| ● Outlook（予定表）では、予定  | 708 | ✓ |
| ● Outlook で受信したメールを  | 649 | ✓ |
| ● Outlook（予定表）の表示は、  | 59  |   |



正解  
53%

Copyright © KAN Corporation All Rights Reserved.

## Teams①②

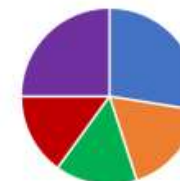


5. 【Teams①】 Teamsでできることをすべて選択してください。（5 点数）

回答者の 37% (422/1140) がこの質問に正解しました。

[詳細](#)

|             |     |   |
|-------------|-----|---|
| ● オンライン会議   | 649 | ✓ |
| ● チャット      | 413 | ✓ |
| ● 音声通話      | 354 | ✓ |
| ● ファイルの共有   | 354 | ✓ |
| ● ファイルの共同編集 | 590 | ✓ |



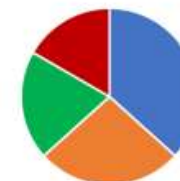
正解率  
37%

6. 【Teams②】 Teams会議で実現できることをすべて選択してください。（5 点数）

回答者の 26% (296/1140) がこの質問に正解しました。

[詳細](#)

|                  |     |   |
|------------------|-----|---|
| ● ブレイクアウトルームを利用し | 649 | ✓ |
| ● 参加者の会議チャットに対する | 472 | ✓ |
| ● オリジナル背景の設定     | 354 | ✓ |
| ● トランスクリプション機能によ | 295 | ✓ |
| ● 「会議のメモ」機能による議事 | 590 | ✓ |



正解率  
26%

Copyright © KAN Corporation All Rights Reserved.

# ITリテラシーを図るポイント

客観的

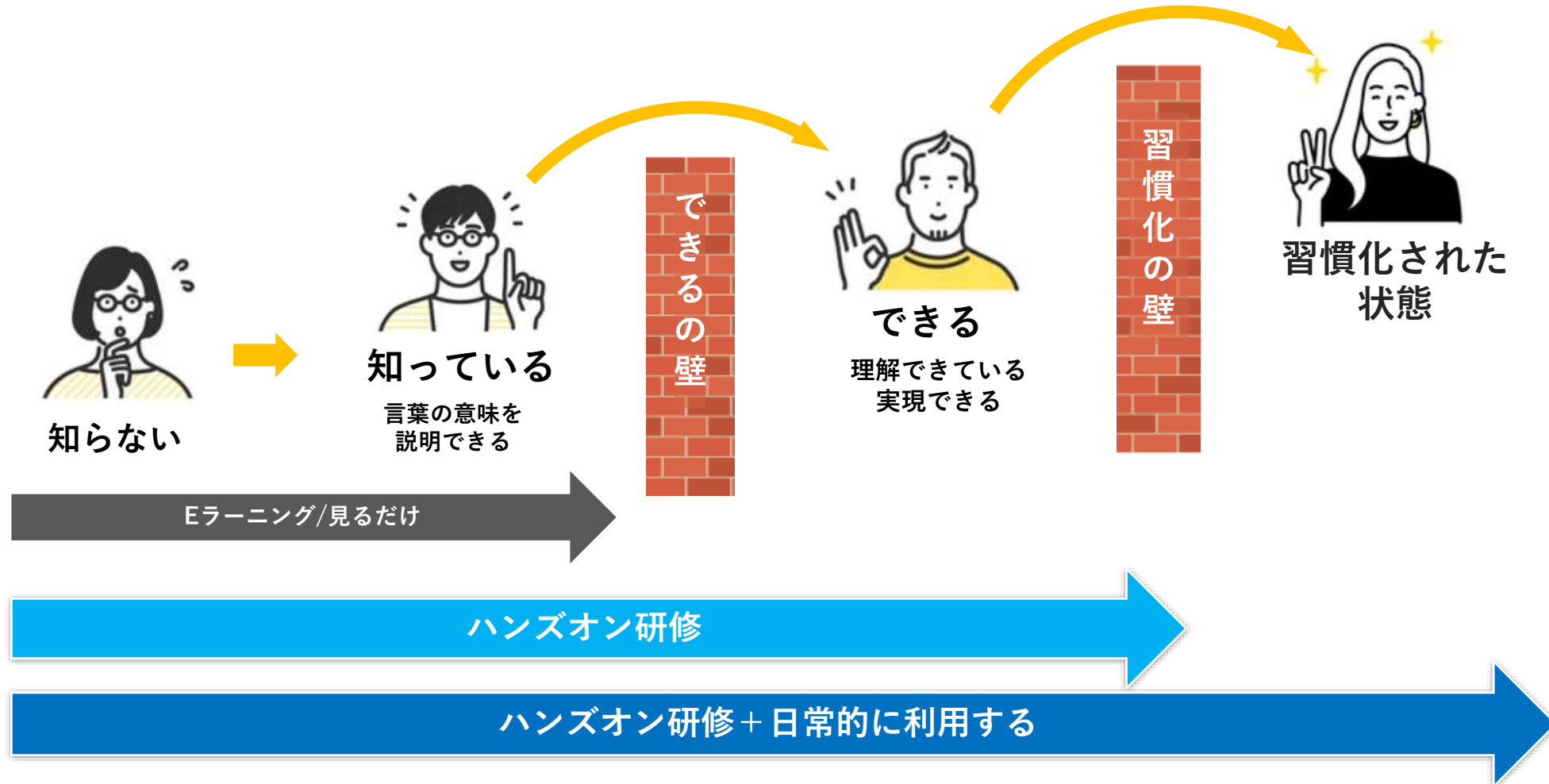
定量的

一定基準

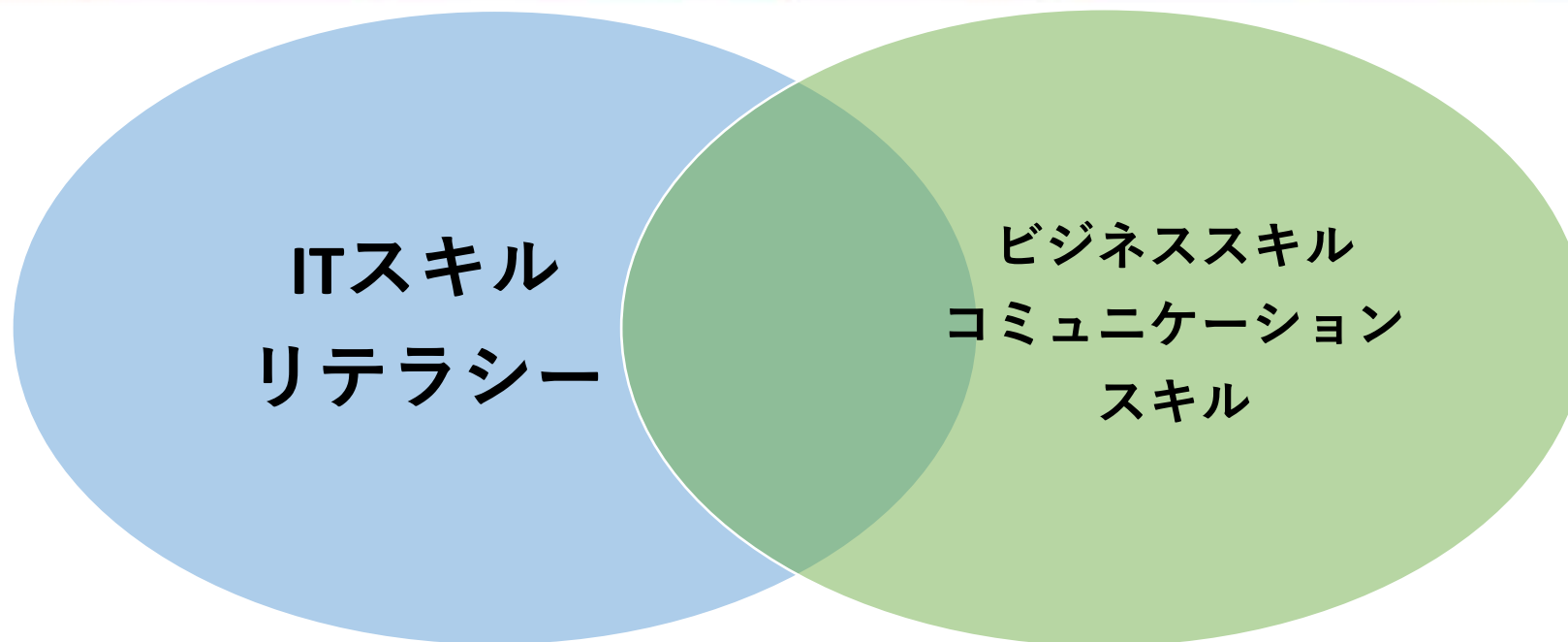
- ✓ 自己学習（その場で回答がわかる）
- ✓ 自己認識を促す
- ✓ 協力する姿勢を示す

# Teams を使いこなせるスキルを習得

## ー スキルの定着のために必要なステップ ー



# ハイブリットワークを実現するスキルを習得



ツールの機能だけ説明しようとしていませんか？

社内の使い分け、ルール＆マナー、シーンを伝え、  
現状把握・ITリテラシーを高める施策を実施する

社内コミュニティをつくり、自走化できる仕組みづくり

なんでもお気軽にご相談ください。



＼ テレワーク推進 ／

# Microsoft Teams なら 私たちにお任せください

スタートアップから利活用までをサポート

詳しくはこちら

教育計画  
コンサルティング

新入社員・中途  
利活用トレーニング

M365/Teams  
マニュアル

ITリテラシー  
理解度チェック

0365日記が人気です

<https://www.kan.co.jp/>

